

### 第3回総合衛生学院移転候補地の利活用検討会会議録

日時：令和元年8月30日(火)10:00~12:00

場所：兵庫県民会館 901会議室

※この会議録について

開会、あいさつ、委員紹介、資料の説明については省略するとともに、事務局等の説明内容や各委員等の発言内容は一部要約しています。

#### ■議 事

##### (1) 報告事項

- 1) 住民ニーズ調査結果について事務局より説明（資料）
- 2) 利活用方策案について事務局より説明（資料）

##### (2) 意見交換

###### 〈委員〉

- ・住民ニーズのヒアリングでは、「こういう施設があれば、こういった部分で協力ができる」といったように自分たちが積極的にやっていくことが感じられるような意見はなかったか。例えば「学生達が来れば、割引します」「ボランティアを派遣します」など。  
⇒婦人会では、「ふれあい喫茶」というカフェを地域福祉センター等を利用して月に1回程度開催しているが、仮に総合衛生学院内にカフェスペース等を設けるようなスペースがあるのであれば、自分たちもその中へ入り、学生のための喫茶を通じて、交流を図りたいという意見も中にはあった。(事務局・神戸市)

###### 〈委員〉

- ・競合すると良くないという意見も多くあるが、内容が違ったものであれば、協力し合えるのではないか。
- ・教育施設はとても良いと思うが、地域の方々と交流できるような空間、様々な方達が様々な用途で使えるようなスペースがあればと思う。

###### 〈会長〉

- ・高齢者施設と一言言っても様々。高齢者施設は競合するというが、バリエーションがあって、その方が望ましいという可能性もある。

###### 〈会長〉

- ・神戸市としてはどうか。  
⇒リカレント教育施設というのは新長田にはないので、可能であれば是非誘致した

い。それから障害者支援施設について、入れる余地があれば入りたいと考えている。(神戸市)

### 〈会長〉

- ・神戸市では三宮において再開発を進めているが、三宮でこういった大学のサテライトキャンパスが来るということは考えられるのか。  
⇒今朝の神戸新聞でも掲載があったが、神戸学院大学が三宮にサテライトを開設する。(神戸市)
- ・大学はかなり疲弊している。サテライトはギャンブルでもある。その際にどのエリアにするかとなると、長田は難しいのではないか。

### 〈委員〉

- ・サテライトキャンパスは、1フロア借りるとなれば、相当お金がかかるので、どのくらい需要があるか。価格の問題は大きく、他のサテライトでも中々継続ができないというところも多い。価格面、顧客面でバランスがとれるところであれば、来てくれるかもしれない。
- ・兵庫県内の大学に限る必要もないのではないか。大阪や京都など他府県の大学でも十分可能性はある。兵庫県に限れば30いくつしかないのもう少し幅広にしてもいい。
- ・リカレント教育としての問題として、アジア諸国の中で日本人の関心が一番低い。そこが変われば、間違いなく大学としても推し進めていくべき教育である。そのためには、やはり行政の施策が必要。現在、国もなんとなくリカレントというと、民間企業として取り扱った進め方をしている。それをしっかりと「大学」だと認識されるような仕掛けが必要。それができれば、私としては兵庫県内の大学に限らず、また、価格の問題が折り合うのであれば、決して来ないということはないと思う。
- ・新長田駅の利用者数もそこまで少なくないと思うし、あまり悲観的ではないのではないか。

### 〈会長〉

- ・関西の大学は残念ながら、まだリカレントに力を入れていない。これからの時代リカレントは必要だと思うが、誰をターゲットにするのか。専業主婦なのか、正規労働者なのか、ドロップアウトした人向けの再就職に向けたものなのか、定年が延びた高齢者向け、シニア向けのものなのか、生涯学習を対象にしたものなのか。それから土地柄を考えたときに、ベトナム系等の外国人の子供たちの学童保育で母国の文化や言葉を教えるというのも夕方の隙間の時間をうまく使えるのではないか。様々なリカレントが考えられる。学校教育という枠で考える必要もないかと。
- ・また、リカレントを関西で進めていくのであれば、やはり梅田になる。関西大学も

天神橋筋6丁目に持っていたが、中々人が来ないので、梅田に移っている。やはり交通の便が良いというのが大きい。長田となると東側の人になかなか来ない、快速も止まらない。心理的あるいは物理的なアクセスの面でハンディキャップを抱えている。賃貸料が安くても、入居先を集められるのかどうか。

#### 〈委員〉

- ・大学のサテライトやリカレント教育は良いと思う。住民ニーズ調査結果でも子育て支援施設も調査を行った団体のうち6箇所がいないと言っている。ただ、高齢者施設、障害者施設について、丸めて一つにしているが、もう少し細かく見ることができるのではないかな。
- ・大学にしても、実際来てもらえなければ話にならない。絵に描いた餅になる。
- ・子育て支援施設は必要ないということだが、支援施設なのか、子供たちが集まる施設なのか。支援施設はいらなくとも、子供が遊びに来られる施設があっても良いのではないかな。

#### 〈委員〉

- ・いま看護補助者が足りておらず、いなみ野学園と高齢者の仕事活躍講座を行っている。そこでは、元気な高齢者がたくさん学んでいる。そういったものが駅に近いところであればいいなと思う。

#### 〈委員〉

- ・大学サテライトの何が楽かというと、施設が大したことの無いもので済む。教室だけで良い。防音と防火は必要だが、それはそんなに難しい話ではない。投資効果が少なく済む。進出しやすい理由としては、床面積の価格だけで済むというところにある。そういう意味では、引き合いがあっても分おかしくない。
- ・リカレント教育で多いのは、国の制度によって決められているもの。例えば教職員であれば、研修を7年に1回受けなければいけないとか、保育は給料あげるために受けなくてはいけない。このあたりはたくさんの方が利用している。それをリカレント教育というのであれば、また立地の良いところであれば、利用してくれる人は多いだろう。
- ・リカレントといっても様々な種類があって、関西学院大学や関西大学が梅田で行っているビジネスマン向けの夜間、それは東京や大阪といった都市圏でないと難しい。それから、受けることを決められたもの、国が決めたものなど。そして、生涯学習型のもの。生涯学習型は多様で、そのあたりの組み立てができれば。

#### 〈委員〉

- ・価格面での優位性についてもそうだが、今回はそれなりにまとまったスペースがあ

るのも魅力かと思う。例えば分散していた機能をそこに集約するだとか、あるいは複数の大学が連携して何かプランを立てていくなど。

- ・資料2のような形で報告書をいただければ、意向調査等も実施したうえで、この空間を効果的に使えるように考えていけるのではないかと思う。

#### 〈会長〉

- ・この先20年30年あるいは40年使ってもらえるかどうか。これからの時代少子化でいくつかの大学がつぶれていく。真剣にリカレント教育をしたり、外国人を入れるか何かしないと大学は持たない時代になってきている。そういう意味で、当初入居しても、数年で撤退する可能性というのが怖いところ。
- ・それから、意向調査をしても、ワンマン経営のところ以外の大学は意思決定が遅いので、できるだけ早く来てほしいという住民の意向や長期的に利用してもらえるのかといった部分に対して危惧している。

#### 〈委員〉

- ・カフェのようなものは競合し、難しいのか。  
⇒再開発ビルの中で空き店舗があるので、民間が行うのであれば、そちらでやってもらえれば同じ地域に対する賑わいにもなる。ただ、地域団体がそういった活動をしていて、いわゆる総合衛生学院との交流を目的にということであれば、当然設計の段階で、学校の中に一部工夫してスペースを設け、入ってもらうことも考えられる。地域の方々との触れあいは人材育成の面でもメリットになると思う。(事務局)

#### 〈委員〉

- ・地域の方々との交流ということであれば、総合衛生学院の敷地内で吸収できるものもあるかと思う。大講堂を新たに作るなどすれば、それなりに人数も収容できる。地元の方にも一緒に聴いてもらえる講習会なども可能で、学生達が交流するスペースに地域団体が運営しているカフェのようなものをしていただき、学生と地域の方、あるいは、学生に限らず、入居していただいた方との交流も生まれる。そういったことは大いに考えられる。

#### 〈会長〉

- ・交流には仕掛けが必要。横浜のランドマークタワーの一角に趣味の部活室みたいなものを作って、集客しているものがある。若者をターゲットにするのであれば、若者の文化に対するアンテナやそれをオーガナイズできる人を呼び込んでこないと失敗する。行政もできないと思う。誰がオーガナイズしていくかが大事。
- ・実際に学生が来たときに、昼ご飯をどうするのか、コンビニで買わせていては、交流も何も生まれない。学生達の昼ご飯をどこで食べさせるか、そして地域の食堂で

どのように交流できるかという部分を誰かがデザインしていかななくてはいけない。  
⇒まずは、この施設で人の来る流れを作り、そこから地域で活動されている方も多くおられるので、そことのマッチングがどうなるか。コンビニで買って終わりという可能性もあるが、地域側も学生が来るということである程度努力してもらう必要もあると思う。町全体がそういった部分で考えて、うまくマッチングしていく、そのための契機になればいいと考えている。

#### 〈委員〉

- ・利活用の方向性の中に「在住外国人」とあるが、利活用方策案に在住外国人に対する対応が見えてこない。どう在住外国人を教育するのか、あるいは、交流するのかといった内容がどこかにほしい。

#### 〈会長〉

- ・リカレントというものを、大学教育に限定せず、多文化をお互いに学び合ったり、自分の文化を学んだり、自らのスキルを高めていくというように考えていくべき。その中に当然在住外国人も含まれるし、子供も大人もいる。多文化共生の一つの拠点というか、それを学ぶ、学び合うというのは、せっかくこの長田というマイノリティな歴史を持ったところなので、その歴史と教訓を新しい時代に生かせるといい。

#### 〈委員〉

- ・ふたば国際プラザはKFC（神戸定住外国人支援センター）に運営を委託しているが、日本語学習や交流等に取り組んでおり、一日平均30人程度利用していただいているような状況。神戸市としては、まずは、その取組をある程度進めていきたいと考えている。

⇒KFCの運営が大変そう。もっと広げて外国人を支援することも必要かと思う。

KFCだけでは大変じゃないか。（委員）

⇒日本語教育だけではだめ。ニューカマーに対するオリエンテーションというのが必要。（会長）

#### 〈事務局〉

- ・逆にそういうことができるような担い手はKFC以外でどこかご存じでないか。長田でやってくれるような。

⇒娘が甲南女子大学で先生をしているが、多文化コミュニケーション学科で授業をしており、学生をKFCに連れていって、いろいろやらせていると聞いている。そういった学部のある大学は、担い手となり得るのではないか。学生にとっても様々な外国人と出会える。（委員）

⇒多文化共生系のNPO法人もたくさんある。（会長）

### 〈事務局〉

- ・今回のヒアリングでは、5,400 m<sup>2</sup>の利活用方策として伺った。そのため、在住外国人関連としては、KFCが既にあるからという意見が出たというだけであって、教育の中のメニューとして、多文化共生部分を否定されたわけではない。場所としての使い道として重複するということ。したがって、大学としての一つのメニューに多文化共生があるということは十分に考えられる。

### 〈会長〉

- ・そうなれば、大学と地元とNPOと行政等、4つ5つのジョイントでやっていかないとだめだろう。個々だけでは背負いきれない。

### 〈委員〉

- ・リカレント教育で、よく言われるのは、「その後どうするのか」。先ほどいなみ野学園の話があったが、いなみ野学園は、もともと地域活動から始まったが、その後のフォローがない。大学だけでは出来ないというのは、そこ。その後のフォローがない。起業教育をやっても実際に起業に結びつけることができる大学は多くない。そのフォロー面をNPO法人にしてもらえば良い。いずれにしても誘致するところが主体でやらなくてはいけないが、その誘致のやり方を、例えば単体でいくのか、複数でいくのか、コンソーシアム方式でいくのかなどやり方はいろいろあると思う。そのあたりを今後の段階、入ってもらう交渉の段階で決めていかなくてはいけないのではないか。
- ・公募になるのか。  
⇒やり方も含めて、市内でも議論しているところ。公平性は保たなくてはいけないので、何らかの形では幅広く声をかけていこうと。いわゆるプロポーザルとなると、かなり主体側としてもハードルが高くなってしまうので、もう少し緩やかに意向調査的なものから始めて候補者を絞るなど、様々な考え方がある。

### 〈会長〉

- ・現在、高齢者のリカレント教育というのが曲がり角に来ている。シルバーカレッジなんかは、西区、北区を中心として、利用者が偏在している。1億ほどかけて見返りがいくらあるのか、といったような財政当局と議会からの圧力もある。生きがい対策といっても、皆高齢者になっていって、元気な人の趣味にお金をかけていいのか、あるいは民業圧迫ではないのか、書道やアートやそういったものを税金でするのか、といった具合にシルバーカレッジへの風あたりがきつくなっている。
- ・高齢者のリカレントというのが、やはり70まで働いてもらうための労働力として、ICTをはじめとしたブラッシュアップをしてほしいという流れになっている。職能

訓練的な要素が出てきている。このリカレント教育も誰を対象にするのか。中身をもう少し具体的にするほうが良い。

#### 〈委員〉

- ・医療・介護の面でいえば、補助するスタッフが本当に不足している。若い人はなかなかスタッフとして確保できず、その上の世代は子育て中で確保が難しい。こうなると高齢者になる。60歳過ぎてからいきなり初めての医療・介護の現場で働こうという気にはなかなかならないと思うので、講座の中で実習という形で現場に入ってもらおう。そこからマッチングにつながれば。神戸エリアや阪神エリアの施設や病院に看護師が足りないという状況なので、総合衛生学院で介護もあるし、看護もあるので、何かできないかとも思う。ニーズは一定あると思う。

#### 〈事務局〉

- ・今後働き方改革等で病院現場の看護師、現在でも残業等多いところなので、看護補助者のニーズは増えてくるかと思う。ただ、それを具体的に看護補助者のリカレントとして、入門講座をどこがやるのかとなった時に、一つの可能性として、総合衛生学院自身が行うということも考えられる。いずれにしてもニーズがあるというのは、よく分かる。

#### 〈会長〉

- ・これからどの分野でどんな人材が必要になってくるので、どんな資格や訓練をすれば得られるのか示したうえで、それについて取り組んでもらえるところはないか、という風に進めていった方がいいと思う。こちらの方向性を見せて、手を挙げるところはないか、と聞いていく方がいいと思う。

#### 〈委員〉

- ・総合衛生学院に外国人は受け入れているのか。  
⇒介護福祉学科では若干名外国人がいる。(事務局)
- ・日本語学校をこの一角で行うっていうのはどうか。  
⇒いま、全体的に増えている。また何人程度いないと利益がでないといったような話もきくので、大変は大変かと。民間でやっておられるところが多いので、公共がどこまで手助けできるのかという面はある。長田には日本語学校はあるのか。(委員)  
⇒多くある。民業圧迫になってしまう。(オブザーバー)

#### (3) 今後の進め方について (会長より)

- ・今回の意見も含めて、報告書で私がとりまとめることとする。

- ・基本的には、大学の誘致にその他3つの提案とし、本日いただいた多文化共生等のご意見については、「誘致する際に工夫をする」といったような形で留意事項として盛り込む。
- ・報告書については委員の皆様にもお目通しいたいただき、擦り合わせのうえ作成し、金澤副知事へ提出させていただく。